

目 次

議長新年のあいさつ	1
概要	2
新春を迎えて各会派の抱負	3~5
代表・一般質問	6~11
委員会の活動記録	12・13
審議結果、請願、意見書等	14・15
お知らせ	16

No.207

2016年(平成28年)1月1日

みなと

区議会だより

平成27年 第4回定例会

平成27年11月26日~12月4日

議長新年のあいさつ



港区議会議長
うかい 雅彦

あけましておめでとうございます。

区民の皆様には、健やかに新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

平成28年の年頭にあたり、港区議会を代表して、ご挨拶を申し上げます。

昨年は、白金にある北里大学附属研究所の特別荣誉教授であられる大村智先生がノーベル生理学・医学賞を受賞され、地元はもちろん、港区としてもたいへん喜ばしい出来事となりました。また、物理学賞には、東京大学宇宙線研究所長の梶田隆章教授が受賞され、お二人の偉大な活躍に日本国民が勇気づけられました。

一方、世界では、平和と安全を揺るがす不安定な状況が発生しており、テロや災害など多様化する危機事象に対して、真の平和が強く求められております。

議会においては、昨年4月の選挙で議員の顔ぶれが変わり、新たな議会構成による18期がス

タートしました。

「区役所・支所改革」により築いてきた区民の皆様との参画と協働を一層推進していくうえで、議会は、区民の皆様のために存在する機関として、その役割を確実に発揮したいと考え、昨年11月には、議会活動や区政の状況について、区民の皆様へ直接報告・説明する港区議会初の「議会報告会」を開催しました。

今後とも、「区民に開かれた議会」「積極的な情報提供」「議会への区民参画の促進」の実現を目指し、区民の皆様の要望を施策に適切に反映していき、効果的・効率的な区政運営が行われるよう議決機関としての責務を果たしてまいります。

本年が皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。



議長
うかい 雅彦
副議長
近藤 まさ子

玉 木 まこと
榎 本 あゆみ
山野井 つよし
兵 藤 ゆうこ
丸 山 たかのり
池 田 たけし
黒 崎 ゆういち

小 倉 りえこ
横 尾 俊 成
清 家 あ い
榎 本 茂
杉 浦 のりお
ちほぎ みき子
やなざわ 亜 紀

有 働 巧
鈴 木 たかや
土 屋 準
大 滝 実
いのくま 正 一
なかまえ 由 紀
阿 部 浩 子

ゆうき くみこ
二 島 豊 司
赤 坂 大 輔
池 田 こうじ
熊 田 ちづ子
風 見 利 男
七 戸 淳

杉 本 とよひろ
林 田 和 雄
清 原 和 幸
井 筒 宣 弘
(議席番号順)



港区議会

〒105-8511 港区芝公園1-5-25 電話03-3578-2920

ホームページ <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/minatokugikai>

表紙をあなたの写真で飾りませんか?

【写真のテーマ】

私が好きな港区の風景

(発行月の季節にあった風景)

詳しい応募方法は、16頁をご覧ください。

会議日程

平成27年第4回定例会 会議日程

11月26日……**運営委員会・本会議**

会期決定 諸報告

代表・一般質問 4 名

27日……**運営委員会・本会議**

代表・一般質問6名

先議議案付託

総務・区民文教常任委員会

議案の審査、委員長報告

運営委員会・本会議

先議案件議決、議案等付託

30日……**4 常任委員会**

議案等の審査

12月 1日……**4 常任委員会**

議案等の審査

2日……**保健福祉・建設常任委員会**

議案等の審査

3日……**運営委員会・本会議**

議案付託

4日……**総務常任委員会**

議案の審査、委員長報告等

3常任・4特別委員会

委員長報告・中間報告

運営委員会・本会議

議案等の議決

定例会の概要

平成27年第4回定例会は、11月26日から12月4日まで開会され初日と2日目に、計10人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。

区長から提出された案件を審議した結果、条例改正・補正予算など20件を原案どおり可決・承認しました。

皆さんから提出された請願は、3件を採択し、また、

1件の取下げを承認しました。

議員提出による案件は、決議1件、意見書1件を可決し関係機関へ送付したほか、区議会議員の費用弁償のうち日額旅費の額を4,000円から2,000円に減額する条例改正を1件可決しました。

第1回議会報告会を開催しました！

昨年11月18日、港区議会初の議会報告会を開催しました。

あいにくの雨天でしたが、60人の方にご参加いただき、質疑応答も活発に行われ、報告会後の議場見学も半数以上の方が参加してくださいました。

また、アンケートは参加者の7割近い方がご回答く

ださり「このような報告会に参加して身近さを感じた」「区議会について考える契機になった」「是非、開催を継続してください」等々、開かれた議会への関心と、開催を継続する期待の声が多くありました。

議員一同、貴重な声をしっかりと受けとめ、今後の議会活動に役立てていく決意を新たにしております。



新春を迎えて 各会派の抱負

●●自民党議員団●●

港区民の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。日頃から自民党議員団に温かいご支援を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

港区は昨年、「港区基本計画・実施計画」を策定し、これからの港区に関する方針が定まりました。そして今年は「港区版総合戦略」の策定が予定され、まち・ひと・しごとの一体的な創生を図るための総合戦略の策定によって区民生活のさらなる向上が期待されます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、JR新駅やリニア新幹線等、これからも港区は発展していく中で、これまでの良好な住環境をしっかりと維持し、自然や文化的資産を守っていくことが望まれています。また、JR新駅の開設の恩恵が駅周辺の発展に留まらず、広く区内に届くようにもしていかなければなりません。

また、人口増加に伴い、区内の子育て世代から

高齢者まで、区民に必要な施策の整備や幅広い行政サービスによる支援が求められています。私たち自民党議員団は地域に根差した草の根政党として、区民の皆様の声を反映させるべく努力を重ねております。

自民党議員団は港区のために取り組むべき主要な課題を認識し、本年は7つの項目を中心に推進していきます。地域経済の活力維持、安全安心のための施策、子育て支援の強化、高齢者の安心・健康・生きがいづくり、障害者支援の充実、財政基盤の強化推進、そして教育環境の整備と充実と、我々自民党議員団はこれからも責任政党として、港区のために取り組んでいきます。

本年が区民の皆様にとりまして、明るく希望に満ちた一年となりますよう、心から御祈念申し上げます。12名からなる会派で区民の皆様のお声やご意見を区に届けてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



黒崎 ゆういち



小倉 りえこ



やなざわ 亜紀



有働 巧



鈴木 たかや



土屋 準



ゆうき くみこ



二島 豊司



池田 こうじ



清原 和幸



うかい 雅彦



井筒 宣弘



新春を迎えて 各会派の抱負

●●みなと政策会議●●

新春を迎え、港区民皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。また、日頃よりみなと政策会議に温かいご支援をいただいていること厚く御礼申し上げます。

私どもは、民主党4名、維新の党2名、社民党1名、無所属3名の計10名からなる、若手を中心に年齢も性別も党派も多様な政策で一致をした会派です。常に活発な議論が行われ、言いたいことが言える開かれた政策集団として思い切った改革を行うために本年も邁進してまいります。

港区では東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地の1つとして、文化プログラムへの取り組みや観光客の受入体制の強化、JR新駅に伴う再開発、BRT計画などさらなる発展をしていきます。港区としては世界に先駆けて産業・観光、環境、ボランティア、教育など様々な分野で試みを実

行していく一方、中小企業支援、区内で生み育ててもらうための子育て施策、日本全体でも問題視されている子どもの貧困、孤独死が増えていると言われる孤立化する高齢者支援、放課後デイサービスなど障がい者支援などは早急に充実させる必要があります。

昨年は人口も24万人を超え、歳入は2,024億円・歳出は1,904億円と、ともに最高決算額となりました。今後も、将来にわたりどの世代の方も安定的に安心して暮らしていけるよう、行政サービスの質を向上させより充実させてまいります。

皆様からのご意見・アドバイスなどがあってこそ区政を良くしていくことができます。誠心誠意、対応させていただきます。お気軽にご要望等をお寄せください。



榎本 あゆみ



山野井 つよし



兵藤 ゆうこ



横尾 俊成



清家 あい



榎本 茂



杉浦 のりお



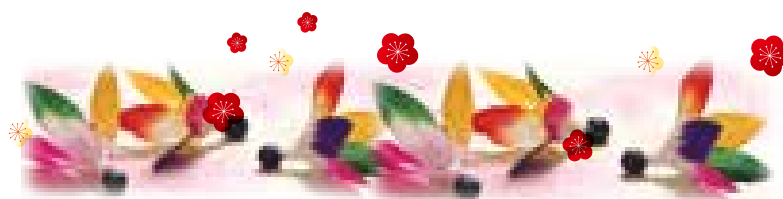
なかまえ 由紀



阿部 浩子



七戸 淳



●●公明党議員団●●

晴れ晴れと2016年が開幕いたしました。
区民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、港区議会議員選挙が行われ、皆様の温かいご支援をいただき公明党議員団として新たな体制でスタートを切ることができました。

いよいよ4年後には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、また、JRや地下鉄日比谷線の新駅が供用開始となるなど、より安全・安心で

快適なまちづくりが求められております。

そして何よりも、どこまでも地域で生きる人、育児をしながら働く人、保育や介護サービスを利用する人の視線にたち、小さなお子様から若者、高齢者や障がいのある方、一人ひとりが輝き活躍できる社会の実現を目指し、この一年間、私たち6名は全力で走り続けてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



丸山 たかのり



池田 たけし



ちほぎ みき子



近藤 まさ子



杉本 とよひろ



林田 和雄

●●共産党議員団●●

明けましておめでとうございます。昨年は、安倍政権が安保関連法(戦争法)を強行し、立憲主義・民主主義否定の政治をおし進めています。

憲法をないがしろにする政治は許せないと、多くの国民が安保関連法(戦争法)の廃止に向け立ち上がっています。

日本共産党は、安保関連法(戦

争法)廃止の政府をつくるため、国政選挙での野党共闘を呼びかけています。

暮らしや雇用、医療・介護など、庶民生活の厳しさも続いています。国政でも区政でも、皆さんの要求を一步でも二歩でも前進させるため、今年も全力で頑張ります。

●●街づくりミナト●●

本年も、区民が主役の街づくりに取り組んで行きます。



玉木 まこと

●●保守の会●●

次世代、次々世代の子供達の為に、鋭意活動して参ります。



赤坂 大輔



大滝 実



いのくま 正一



熊田 ちづ子



風見 利男

代表・一般質問

11月26・27日

●●自民党議員団●●

財政運営と基盤の確立について

Q. 財政運営について

A. 景気の変動や海外経済の動向等、影響を受けやすい歳入構造に留意して財政運営を堅持していく。

Q. 適正な債権管理のための人材育成について

A. 計画的に育成することとし、マニュアル作成や弁護士への相談体制を整備した。今後も取り組みを充実させる。

マイナンバー制度について

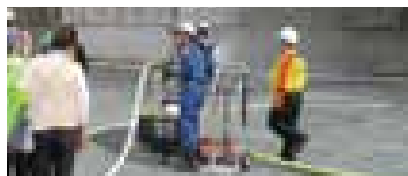
Q. 個人番号カード交付申請に係る区の対応について

A. 現在、申請方法についての情報提供や、詐欺事件の発生を防ぐため注意喚起をしている。引き続きわかりやすい情報提供と丁寧な案内を心がける。

スタンドパイプについて

Q. スタンドパイプの配備について

A. 木造住宅が多く消防車両の進入が難しい地域では、D級ポンプと同様にスタンドパイプによる消火活動が有効。各地区総合支所で防災会から地域の実情を確認し、必要とされる防災会に早急に配備を進める。



港区総合防災訓練（高輪会場）にて

港区史の刊行について

Q. 港区史の編さんと刊行について

A. 新修港区史を刊行してから36年が経過した。平成29年3月に区は区政70周年を迎えることか

ら、記念事業の一つとして取り組む。

区内中小企業の活力維持と活性化について

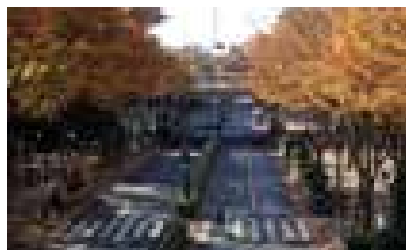
Q. 融資あっせん事業について

A. 中小企業診断士による資金計画の事前指導や審査を十分に行い、融資の成立を促進できるよう努める。

街路樹の整備による快適なまちづくりについて

Q. 街路樹の整備について

A. 日射の照り返しや乾燥等、都市の厳しい環境下において生育環境をこれまで以上に整える。また、道路整備に伴う植栽空間の創出や、街並みや地域条件に合った樹種の選定や木の高さを組み合わせる等、快適なまちづくりを推進する。



子ども・子育て支援施策の整備と強化について

Q. 保育園・学童クラブの定員確保について

A. 区はこれまでも積極的に定員拡大に取り組んできた。平成28年4月に向けては、保育園296名、学童クラブ201名の定員拡大を行う。今後も、区民ニーズに的確に対応するため、整備に努める。

Q. 病児・病児後保育の充実について

A. 病児保育に対する需要が増加している状況もあり、自宅に保育者を派遣して保育を行う「訪問型病児保育事業」の実施を検討する。

高齢者が安心して暮らせる取り組みについて

Q. 住み慣れた地域で安心して暮らせる取り組みについて

A. 医療・介護連携や認知症対策等の取り組みを、平成29年度中にモデル事業として展開したいと考えている。港区ならではの地域包括ケアシステムを実現していく。

精神障害者の緊急一時保護について

Q. 精神障害者の緊急一時保護について

A. 各地区総合支所で相談を受け、区外の入所可能な施設を紹介している。今後は実態の把握に努め、事業の実施に向けて検討する。

教育について

Q. 理科教育について

A. これからの理科教員に求められる資質や能力を踏まえ、実践事例集を作成し、理科教育の更なる充実に努める。

Q. 租税教育について

A. 区立小・中学校では学習により、租税の意義と役割について理解を深めている。今後も税理士や会計士の専門家や税務署に働きかける等、租税教育の一層の充実を図る。

平成28年度予算について

Q. 来年度予算編成について

A. 平成28年度は区政70周年の節目の年、区の更なる発展の好機と捉え、「安全で安心して暮らせる、夢と希望に満ちた港区の未来を創り上げるための予算」とし、3つの重点施策に財源を優先的に配分し、編成していく。

民主主義について

Q. 民主主義の捉え方と望ましい地方自治について

A. 区政は区民一人ひとりの意思に従って行われ、自分たちのまちを自ら創り上げていくことが基本であり、民主主義のありようであると考えている。今後も区民参画に

より得られる区民の意見を最大限区政に反映し、区民福祉の向上に努める。

プログラミング教育について

Q. 小学校でのプログラミング教育の体験機会について

A. プログラミング教育は小学校の学習指導要項に位置づけられていないが、ICT機器活用能力を高められるよう、体験する機会の創出に努める。

Q. 学校内外での総合的な取り組みについて

A. これからの国際社会ではICT機器活用能力を備えておくことが必要。区立小・中学校ではコンピュータの基本操作やプログラミング基礎を学んでいる。今後も学校内外のプログラミング教育を活用し、情報教育の充実を図る。



ICT化のインフラ整備について

Q. 生徒の健康に注意を払ったインフラ整備について

A. 授業の中で電子黒板やタブレット端末等の機器を扱う際は、画面を長時間見続けられないよう指導し、教室の明るさを適正に保ち、ディスプレイの照度を調整する等、環境を整えている。引き続き、児童・生徒の健康に配慮し、授業を行う。

保育園の待機児童対策について

Q. 待機児童解消に向けた今後の対策について

A. 平成28年4月に向け、私立認可保育園4園の開設等、定員拡大を行う。今後も人口動向や保育需要を踏まえ、待機児童を生じさせないように取り組む。

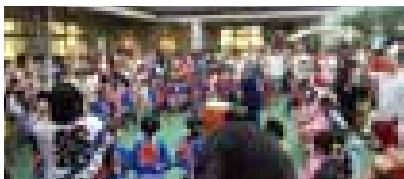
Q. 待機児童数の地区の偏在化対策について

A. 芝浦港南地区における待機児童数は全体の約半数を占めている。しばうら保育園の緊急一時保

育室を活用しての定員増加や、新たに私立認可保育園1園を開設をする等、様々な手法により効果的に定員拡大を進めていく。

Q. 私立認可保育園の保育の質の維持・向上について

A. 区では私立認可保育園の保育士のため、人材育成を支援している。来年度からは区の保育士等が私立認可保育園を巡回訪問し、運営状況を確認したり、適切な助言を行う等、保育の質の更なる向上に向けて支援していく。



国家戦略特区の旅館業法の特例について

Q. 他の自治体の条例制定の取り組みについて

A. 現時点で条例が制定されているのは大阪府のみ。しかし関西圏における旅館業法の特例に関する区域計画は策定されていない。東京圏では10月に大田区が区内を対象とした区域計画の認定を受け、条例制定に向けて準備をしている。

Q. 区の対応について

A. 条例制定を視野に入れ、防火対策や外国語による情報提供、近隣住民への不安解消について検討を進めている。

海路と陸路を繋ぐ防災対策について

Q. ネットワーク化する防災対策について

A. 災害時における輸送手段の多様化を図るため、海路と陸路をネットワーク化した輸送体制について検討を続ける。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会について

Q. 専管組織とスローガンについて

A. 現在、企画経営部が調整等の役割を担い、全庁横断的に取り組んでいる。専管組織の設置は今後の様々な動向を踏まえ、検討

していく。また、区独自のスローガンについても検討する。

Q. スポーツツーリズムについて

A. 観光情報の提供に加え、ジョギングコースなどスポーツ資源の紹介やスポーツイベント情報の提供など、スポーツの力を今後の観光施策に積極的に取り入れる。

Q. 事前キャンプについて

A. 9月に事前キャンプ誘致の意思表示を行った。区の環境を最大限に活用し、積極的に誘致に取り組む。

まちづくりにおける区民意見の反映について

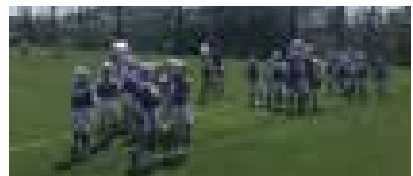
Q. 港南地域におけるまちづくりについて

A. 芝浦港南地区総合支所では毎月港南地域連合会で情報提供や意見交換を行っている。今後も地域の方のご意見をJRや東京都等の事業者へ伝え対応を求め、連携したまちづくりを進める。

スポーツ推進計画について

Q. 基本目標の達成に向けた事業の進捗状況について

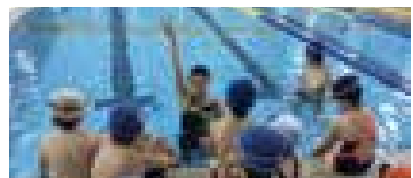
A. 来年1月から2月にかけて埠頭少年野球場の人工芝の張り替えを行う等、今後も計画的にスポーツ施設の環境整備の充実に積極的に努める。



スポーツ施設の環境整備

Q. 推進体制及び連携・協働の状況について

A. トップアスリートによるスポーツ教室について等、地域や関係団体とともに企画内容の検討を行っている。今後のニーズに応えるためにも連携した取り組みを更に進める。



トップアスリートによるスポーツ教室

●●みなと政策会議●●

子どもの貧困対策について

Q. 子どもの貧困の実態調査結果を踏まえ指標を設定し、実施計画の策定をすべき。「子ども貧困対策基金」を積み、来年度の予算に施策を盛り込むべき。

A. 子どもを抱える家庭の生活実態を的確に把握して、保護者の経済的自立に向けた支援とあわせ、子どもの視点に立ったきめ細かな支援を実施し、子どもの貧困対策を推進する。

病児保育について

Q. 保育園の定員拡大をしたが病児保育は定員が増えていない。保育園の定員数に見合った病児保育の整備と小学3年生までの拡大、利用方法の改善、訪問型病児保育への助成を。

A. 今後1施設を整備し、既存の病児保育室については、キャンセル待ちの保護者へ迅速な連絡や、感染症の子ども新たな隔離スペースの確保など、病児保育における利用者の利便性や稼働率の向上に努める。訪問型病児保育事業は、保護者の声を踏まえ、実施について検討する。

難病医療費等助成・小児慢性特定疾病対象者の医療費助成について

Q. 今年から難病と小児慢性特定疾病の対象が拡大したことに伴い、患者の自己負担が2割に。中学卒業までは、子ども医療費は無料だが、難病と小児慢性特定疾病においては、18歳まで子ども医療費の拡大で、病気の子どものための支援を。

A. 難病医療費等助成などの国の制度が所得に応じた自己負担とすることで、公平かつ安定的な仕組みとなっていることなども踏まえ、今後、調査、研究を行っていく。

麻布いきいきプラザの本格施設について

Q. 仮設の施設で10年以上運営し

ている麻布いきいきプラザを、現在の元麻布のみなとリサイクル清掃事務所作業連絡所に移設することを早急に検討し、あわせて、この場所で温泉を掘削し、温泉がある麻布いきいきプラザと温泉を活用した、子どもから高齢者まで集えるコミュニティの拠点等にしていくべき。

A. 麻布いきいきプラザは仮施設での運営が長期に及び、皆さんにはご不便をおかけしている。これまで以上に快適にご利用いただける施設を目指す。みなとリサイクル清掃事務所作業連絡所用地も視野に入れながら、移転場所等を早急に検討する。温泉については、幅広い視点からの検討課題としていく。

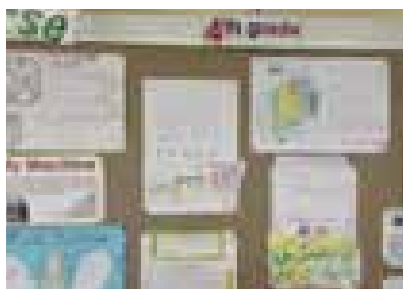


みなとリサイクル清掃事務所作業連絡所

国際学級の拡大について

Q. 東町小学校の国際学級の本格的実施から4年目。六本木中学校に国際学級の設置と国際学級を希望する児童のためにも近隣の小学校への拡大をすべきである。

A. 東町小学校の国際学級は、各学年10名が上限だが近年、入学希望者は増加傾向にない。他の小学校の設置拡大は、今後のニーズを見極めながら検討する。区立中学校への国際学級の設置については、東町小学校の国際学級を卒業する子どもの進路状況を踏まえ検討する。



東町小学校の国際学級

図書館サービスの充実を

Q. 土日祝日の時間延長とブックポストの拡大、予約サービスの受け取り場所の拡大等、図書館の課題について早急に解決していくべき。

A. 土日祝日の開館時間延長については、港区の地域特性や利用実態、費用対効果を考慮しながら、様々な角度から検討を進めている。ブックポストの増設は、設置場所や図書の回収ルート確保が必要。予約資料の受け取り場所の拡大は、図書館システムの設置や貸出手続きを行う人材の配置の課題がある。今後も図書館サービスの向上につながるよう、課題解決に取り組む。



麻布図書館

乳がん検診について

Q. 女性の14人に一人が乳がん罹患するとされている。乳がん検診の受診率向上と、20代からのエコー検査や毎年マンモグラフィ検査を行うなど検診内容を見直すべき。

A. 港区がん対策推進アクションプランを策定し、がんの予防から医療、在宅緩和ケア支援を含む総合的ながん対策に取り組む。この中で、乳がん検診など各種がんの検診内容の見直しや受診率の向上についても検討する。

心のバリアフリー推進について

Q. 今後の取り組みについて

A. 障がい児（者）アート展の開催等、障がい者と地域住民との交流で理解推進に努める。

障害者差別解消法について

Q. 施行までの取り組みと施行後の取り組みについて

A. 昨年8月に庁内に港区障害者差別解消推進会議を設置。施行後は関係機関と障害者差別解消支援地域協議会を設置。

障がい者入所施設の整備について

Q. 南麻布四丁目の入所施設の整備の取り組み状況は。

A. 指定を受けるため東京都との協議を進めている。



特別養護老人ホームについて

Q. 整備の区の取り組みについて

A. これまで8施設、729床を整備、さらに南麻布四丁目に定員100名の特養養護老人ホームを整備予定。今後も介護予防を含め総合的な施策の充実を図っていく。

地域包括ケアシステムについて

Q. 構築に向けた取り組み状況について

A. 昨年11月「港区地域包括ケアシステム推進会議」第1回会議を開催。今後も課題を協議していく。

サービス付き高齢者向け住宅について

Q. 供給促進に向けた取り組みについて

A. 現在シティハイツ六本木の改築に合わせて、30戸の建設。今後も民間事業者への働きかけ等をしていく。

子育て支援サービスの情報提供について

Q. 個人のニーズに合わせた子育て情報の提供について

A. 子育てコーディネーター事業を開始。平成28年3月から出産・子育て応援メール配信事業を開始。SNS等を活用した情報発信も調査研究していく。



子どもの国際理解教育の推進について

Q. 子どもの国際理解教育の推進に向けた今後の取り組みについて

A. 全学年の国際科テキストの改訂に取り組む。英語によるおもてなしができる意欲や能力を高める。

特別支援教育の推進について

Q. 今後の取り組みについて

A. 来年度から特別支援教室を全小中学校に拡大していく。

港区まち・ひと・しごと創生総合戦略について

Q. 若い世代が希望を持てる地域社会の実現に向けて

A. 男女の仕事と家庭の両立支援やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援を推進。

ラグビーワールドカップ2019に向けたスポーツ振興について

Q. 今後の取り組みについて

A. スポーツを「する」「みる」「支える」視点から様々な取り組みを進める。

公明党議員団

産業経済費の適正配分と管理

Q. 構造上の仕組みを見直すことで適正執行を図るべき。

A. 必要な補正を行うなど、適正な執行管理に努める。

2020年の東京五輪を見据えた港区の魅力発信について

Q. 費用を投じ取り組むべき。

A. デジタルサイネージ等を活用し効果的に発信していく。

公衆無線LANについて

Q. 防災等に活用するため区全体で計画的かつ効果的にWi-Fi環境を整備すべき。

A. 区内の調査結果を踏まえ、今年度整備方針を定めていく。



Free Wi-Fi

事務事業評価について

Q. 効果と課題を何う。

A. 職員の意識改革に役立っている。迅速・柔軟に見直しや創出につなげることが課題。

港区総合戦略における、若者への結婚支援について

Q. 晩婚非婚解消のため婚活まで踏み込んだ支援をすべき。

A. セミナーや区内観光スポットを巡る体験型イベント等、幅広い支援策を検討する。



●● 公明党議員団 (前頁のつづき) ●●

港区政策創造研究所について

Q. 今後の取り組みを伺う。

A. 研究所の調査分析結果を踏まえ、取り組みを検討する。

地方創生に向けた総合戦略の取り組みについて

Q. ①港区の総合戦略をどのように進めていくのか。②総合戦略の考え方の周知法を伺う。

A. ①自治体間連携による効果的事業展開を目指していく。②リーフレット等を用い幅広く効果的な周知に努めていく。

区民交通傷害保険について

Q. 周知すべき。

A. 各町会自治会等で直接説明し、加入を働きかけていく。

休日保育の充実について

Q. 保護者の負担軽減のため偏在を解消すべきではないか。

A. 各地区の身近な施設での利用に向けて検討を進める。



保育園等の感染症対策

Q. どのように取り組むのか。

A. システムの導入等により啓発強化に努める。

今後のまちづくりについて

Q. 港区は今後どのようなまちづくりを目指すのか、伺う。

A. 環境と都市機能のバランスのとれたまちづくりに。

泉岳寺駅再開発事業について

Q. 駅の機能強化と駅周辺の再開発事業にどのように取り組むのか、伺う。

A. 地権者や地域の理解と協力を得ながら推進していく。

お台場の海について

Q. 魅力発信や郷土意識醸成のための今後の取り組みは。

A. 「泳げる海お台場」の実現に向け全庁で取り組む。

人口増加による教育環境の再整備について

Q. ①小学校の適正規模、適正配置②公共施設等総合管理計画における学校施設で考慮すべき視点③港区総合戦略における教育の位置づけを伺う。

A. ①学級数だけでなく、質の高い教育が可能かが重要。②安全・安心の確保、防災拠点の役割などの視点も踏まえる。③子育ての切れ目のない支援として整備に取り組む。

区の財政運営について

Q. 将来を見据えた区の財政運営について伺う。

A. あらゆる世代が将来まで安心できるよう努めていく。

区の債権の一元化について

Q. 生活再建の道筋となるよう、私債権の一元化を。

A. 庁内連携を密にし、相談しやすい体制の充実を図る。

NPO法人への支援について

Q. ①中小企業融資あっせんへの対応について②経営に関する手助けについて、伺う。

A. ①関連団体等に制度の周知に努めていく。②活動を支えるための支援策を検討する。

区の住宅施策について

Q. ①特定公共賃貸住宅や区立住宅の運用の見直し②若年ファミリー世帯への供給③住宅施策における組織間の連携を伺う。

A. ①住宅セーフティネット機能強化の視点も含め見直す時期。②子育て世帯への対応も視野に入れて検討を進めていく。③全庁を挙げ組織横断的

な体制で取り組んでいる。



高輪コミュニティぷらざ内の直通エレベーターについて

Q. 1階及び5階への通路の屋根の設置について、伺う。

A. 都と協議をしながら、引き続き検討していく。

いじめ防止について

Q. 区長と教育委員会との連携について、伺う。

A. オール港区で防止に向けたネットワークを強化する。

●● 共産党議員団 ●●

安保関連法（戦争法）廃止を求める署名に賛同を

Q. 安保関連法（戦争法）廃止を求める29団体の2000万人を目標にした統一署名が始まった。内容は、「法律をすみやかに廃止すること」、「立憲主義の原則を堅持し、憲法9条を守り、いかすこと」を求めている。武井区長が、この署名に賛同し、区民に憲法を守る立場を発信すること。

A. 特定の法律に対する賛否を表す署名をすることは考えていない。

マイナンバー法について

Q. 「マイナンバー法」が施行され、「通知カード」が発送されている。トラブル続きで国民の不安は募るばかり。来年1月からの本格運用はあまりにも危険。①国民に不利益をもたらすマイナンバーの凍結・中止を求めること。②マイナンバーの扱いに当たっては、あらゆる漏え

い防止対策を実施すること。

- A. ①マイナンバー制度を凍結・中止するよう、国に求めることは考えていない。②情報漏えいの防止対策を引き続き組織全体で徹底する。

羽田空港の新航路案について

- Q. 国土交通省が「説明会」と称して行ったオープンハウスで寄せられた意見でも、多くの不安の声や要望が出された。港南地域をはじめ反対の声が挙がっている。区民の不安の声を届け、都心区上空を通過する「南風案②」の撤回を求めること。

- A. 国の責任において区民等に丁寧な説明を行い、十分な理解を得て、検討を進めるべきもので、区は、国に対して、区民の安全と生活環境を守るため意見要望等を伝える。

駐輪場対策について

- Q. みなとパーク芝浦駐輪場は住民が利用しやすいように2段式駐輪場を廃止し、平置きを増やすこと。

- A. 3人乗り電動自転車の利用が増加しており、平置きの駐輪スペースを増やしてほしいとの声が寄せられている。現在、2段式駐輪装置を平置きスペースへ変更するなどの改善策を検討している。



建築物解体での近隣住民への説明と工事協定について

- Q. 建物の解体は、騒音、振動、粉塵、工事車両の出入り等々、近隣住民に多大な迷惑をかける。住民から開催が求められたら説明会を開催するように要綱を改

正すること。

解体工事にあたっては、工事協定書を締結した上で工事に着手するよう、指導すること。

- A. 「解体工事等の事前周知等に関する要綱」に基づき、事業者が工事内容を周知することを定め、近隣への工事の配慮や公害防止に努めるよう指導している。
住民から説明会開催や工事協定書の要望があれば事業者に申し入れる。



街づくりミナト

交通まちづくりについて

- Q. 自転車やコミュニティバスなど個別の計画は策定済みだが、都市交通マスタープランなど総合的な交通まちづくりを検討すべきでは。

- A. 鉄道新駅整備など区を取り巻く状況は急速に変化しており、今後、総合的な交通まちづくりについて検討する。

電力小売全面自由化について

- Q. COP21開催に関連して、来春に迫った電力小売全面自由化への区の対応は。

- A. 環境に配慮したライフスタイルを推進する絶好の機会と捉え、省エネセミナーの中でさらなる普及啓発に努める。



アースパレード2015 (c)Hiroshi Okamoto

議会はどなたでも傍聴できます

区議会の会議は、公開されています。

本会議、委員会とも傍聴できます。

傍聴を希望される方は、当日の会議予定を区議会事務局にご確認の上、お出かけください。保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりすることもできます。(事前申し込みが必要です。)

【問い合わせ先】

会議予定について

電話 03-3578-2915

一時保育について

電話 03-3578-2921

各会派の連絡先

不在の場合は、区議会事務局
電話 03-3578-2911へ

自民党議員団

電話 03-3578-2927

FAX 03-3578-2909

みなと政策会議

電話 03-3578-2938

FAX 03-3578-2949

公明党議員団

電話 03-3578-2935

FAX 03-3578-2937

共産党議員団

電話 03-3578-2945

FAX 03-3578-2947

街づくりミナト

電話 03-3578-2958

FAX 03-3578-2854

保守の会

電話 03-3578-2958

FAX 03-3578-2854

常任委員会の活動記録

総務

●…審議案件 ①②…主な質疑

- 港区特別職報酬等審議会の答申を受けて、区議会議員の議員報酬の額等を改定する「港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」、区長等の給料の額等を改定する「港区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例」、教育長の給料の額を改定する「港区教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例」
＜3案賛成多数で原案可決＞

- ①改定後の特別職の退職手当の額

- 特別区人事委員会の勧告等を受けて、職員の給与を改定する「港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞

- ①公民格差を調査するための対象企業の規模

- ②改定に伴う年間の平均引き上げ額

- 「平成27年度港区一般会計補正予算(第3号)」、「平成27年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第1号)」、「平成27年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第1号)」、「平成27年度港区介護保険会計補正予算(第3号)」
＜4案原案可決＞

- 平成27年3月17日に議決した「汐風橋架替工事(道路整備)請負契約」につ

いて、工事方法の変更等及び契約金額を増額する「専決処分について」

＜承認＞

- ①鹿島橋架替工事と汐風橋架替工事における契約金額の相違

- ②工事方法の変更内容及び増額の内訳

- 区における個人番号を利用することができる事務等を追加する「港区個人番号の利用並びに特定個人情報の保護及び提供に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例」
＜賛成多数で原案可決＞

- ①個人番号通知カードの発送件数及び返送された件数

- ②特定個人情報漏えいを防止するためのセキュリティ対策

- 「平成27年度港区一般会計補正予算(第4号)」＜原案可決＞

- ①小規模保育の卒園児が入園できる連携保育園

- ②小規模保育事業における保育の質の確保策

- 港区赤坂地区総合支所等昇降機設備取替え工事の「工事請負契約の承認について」＜原案可決＞

- ①入札を辞退した業者における辞退理由

- ②地震によるエレベーター停止時の復旧

方法

- 浜路橋改良工事(耐震補強)の「工事請負契約の承認について」

＜原案可決＞

- ①橋脚の防護柵の設置基準

- ②船舶事故を防止するための対策

- 「港区土地開発公社の解散について」
＜原案可決＞

- ①港区土地開発公社の設立目的

- ②残余財産の発生理由

- 行政委員会の委員及び非常勤の監査委員の日額旅費の額を改定する「港区行政委員会の委員及び非常勤の監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」
＜原案可決＞

- ①費用弁償を減額することの行政委員への周知

- 閉会中の委員会活動

○主な報告事項

- ①みなとパーク芝浦駐車場の管理運営の改善について

- ②港区まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

保健福祉

- 閉会中の委員会活動

○主な報告事項

- ①都営南麻布四丁目アパート(29号棟)併設の南麻布保育園外壁塗装等工事について

- ②都営北青山三丁目団地建替に伴う区施設の整備について

建設

- 「指定管理者の指定について(港区立桜田公園自転車駐車場等)」
＜賛成多数で原案可決＞

- ①非公募の理由

- ②単独運営の場合とグループ化して運営した場合の経費や運営方法の比較

- 海岸一丁目地区の開発事業の施行に伴い、特別区道第1,175号線を認定する「特別区道路線の認定について」
＜原案可決＞

- ①歩行者デッキを整備することによる景観及び沿道商店への影響

- ②歩行者デッキ及び地上歩道の幅員

- 閉会中の委員会活動

○主な報告事項

- ①公園等樹木の健全度調査結果と対応状況について

- ②道路構造物の総点検結果と対応状況について

区民文教

- 特別区人事委員会の勧告を受けて、幼稚園教育職員の給与を改定する「港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞

①改定に伴う年間の平均引き上げ額

- 「地方税法」の一部改正及び「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行等に伴う「港区特別区税条例等の一部を改正する条例」＜原案可決＞

- ①区民が他の自治体にふるさと納税を行った実績及びそれに伴う区への影響
- ②寄附金控除額に係るワンストップ特例を適用した場合の区の歳入への影響

- 教育センターの位置を変更する「港区立教育センター条例の一部を改正する条例」＜原案可決＞

- ①面積拡張に伴う教育センター機能の充実
- ②遊戯療法室の用途

- 閉会中の委員会活動

○主な報告事項

- ①社会保障・税番号制度における個人番号通知カードの送付及び個人番号カードの交付について
- ②芝五丁目複合施設整備基本計画（素案）について

特別委員会の活動記録 閉会中の主な報告事項

エレベーター等対策

- ①シティハイツ竹芝エレベーター事故に係る判決公判について
- ②シティハイツ竹芝エレベーター事故に係る押収品の還付及び事故調査委員会の調査について

請願書の書き方

皆さんの声を区政に！—請願書の書き方—

区議会では、広く皆さんの意見や要望を請願書として受け付けています。
特に定められた様式はありませんが、下記の書き方を参考に、次の必要事項を書いてください。

〇〇〇〇〇に関する請願

港区議会議長
〇〇 〇〇様

年月日
請願者
住 所
氏 名
(署名又は記名押印)
電話番号

請願の趣旨(簡潔に)
〇〇〇していただきたい。

請願理由

- ①日本語で請願の趣旨を簡潔に書いてください。
- ②請願者の住所、氏名(自署又は記名押印)、電話番号を書いてください。なお、請願者が多数のときは、代表者を定めて署名簿を添付してください。
- ③あて先は「港区議会議長」としてください。

【問い合わせ先】

区議会事務局議事係 電話 03-3578-2915

港区議会Facebookを go らん くだ さい!!

会議のお知らせや、議会でのさまざまな活動について、写真等
できるだけわかりやすく、皆さんにお知らせできるようまめに
情報発信してまいります。
皆さんからの「いいね!!」をお待ちしています!!

●港区議会Facebookのアドレス
<http://www.facebook.com/minatokugikai>

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

平成27年第4回 定例会 案件名		議 自 民 党	政 み な と 議 策 会 議	議 公 明 党	議 共 産 党	街 つ く り ミ ナ ト リ	議 決 結 果
区長報告 第11号	専決処分について（夕凧橋架替工事（道路整備）請負契約の変更）	○	○	○	○	○	承認
議案 第97号	港区個人番号の利用並びに特定個人情報の保護及び提供に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	原案可決
議案 第98号	港区特別区税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第99号	港区立教育センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第100号	平成27年度港区一般会計補正予算（第4号） ●歳入歳出それぞれ23,602千円を追加し、総額を115,478,455千円とする。	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第101号	工事請負契約の承認について （港区赤坂地区総合支所等昇降機設備取替え工事）	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第102号	工事請負契約の承認について（浜路橋改良工事（耐震補強））	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第103号	指定管理者の指定について（港区立桜田公園自転車駐車場等）	○	○	○	×	○	原案可決
議案 第104号	港区土地開発公社の解散について	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第105号	特別区道路線の認定について（海岸一丁目）	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第106号	港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	原案可決
議案 第107号	港区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	原案可決
議案 第108号	港区教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	原案可決
議案 第109号	港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第110号	港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第111号	平成27年度港区一般会計補正予算（第3号） ●歳入歳出それぞれ151,269千円を追加し、総額を115,454,853千円とする。	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第112号	平成27年度港区国民健康保険事業会計補正予算（第1号） ●歳入歳出それぞれ3,594千円を追加し、総額を27,531,577千円とする。	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第113号	平成27年度港区後期高齢者医療会計補正予算（第1号） ●歳入歳出それぞれ5,969千円を追加し、総額を4,687,016千円とする。	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第114号	平成27年度港区介護保険会計補正予算（第3号） ●歳入歳出それぞれ5,552千円を追加し、総額を15,632,889千円とする。	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第115号	港区行政委員会の委員及び非常勤の監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
請願27 第22号	白金地域に「港区コミュニティバス」の運行を求める請願	○	○	○	○	○	採択
請願27 第23号	住友不動産株式会社の東麻布計画に関する請願	○	○	○	○	○	採択
請願27 第24号	三田一丁目旧専売病院跡の商業ビル建設に伴う 「安全な北側歩道空間の確保」に関する請願	○	○	○	○	○	採択
発案27 第23号	フランス・パリ市での同時多発テロ事件に関する決議	○	○	○	○	○	原案可決
発案27 第24号	「ふるさと納税」制度に関する意見書	○	○	○	○	○	原案可決
発案27 第25号	港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決

皆さんから提出された請願

採択した請願

▼白金地域に「港区コミュニティバス」の運行を求める請願

(要旨) 高輪地区総合支所・高輪図書館・高輪いきいきプラザ・白金台いきいきプラザ・白金いきいきプラザなどを循環する「ちいばす」を運行されたい。

▼住友不動産株式会社の東麻布計画に関する請願

(要旨) 住民と事業者との間で建築工事協定書を締結するとともに、歩行者の安全を確保する具体的な対策案・計画書を作成

し、話し合いの場を設定するよう、区として事業者を強く指導されたい。

▼三田一丁目旧専売病院跡の商業ビル建設に伴う「安全な北側歩道空間の確保」に関する請願

(要旨) 歩行者の安全を守り、特に通行弱者の安全対策を講じるため、事業者側敷地に歩行者空間を確保できるよう、区として事業者に対し指導、協力要請をされたい。

取り下げられた請願

▼緊急暫定保育施設浜松町二丁目保育室の認可保育園化に関する請願

決議しました

フランス・パリ市での同時多発テロ事件に関する決議 (要旨)

去る11月14日(現地時間11月13日)、フランス・パリ市中心部のコンサートホールや北部のサッカー場などを標的に、一般市民を無差別に襲った残虐なテロ事件が発生しました。

港区議会は、区民を代表し、この無法なテロ行為に怒りを込めて断固非難します。

ここに、全ての犠牲者の方々と、そのご家族・関係者の皆さんに深く哀悼の意を表するとともに、惨事に遭遇された多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。

いま求められているのは、国際社会が一致団結して、テロを絶対に許さないという強い信念を共有していくことです。

よって、港区議会は、政府に対し、人類全体の安全確保のため、本事件に関わる全容の早期解明及び新たなテロ事件の再発防止に向けて、全世界が総力を挙げて努力することを強く求めるものです。

以上、決議する。

港区議会

意見書を提出しました

「ふるさと納税」制度に関する意見書 (要旨)

国は、平成20年度に、生まれ育った自治体や応援したい自治体へ寄附ができる仕組みとして、「ふるさと納税」制度を創設しました。

しかし、「ふるさと納税」は、寄附を建前としながらも税源偏在是正の目的であることが垣間見え、また、各自治体が用意した豪華な返礼品目当ての寄附が増える構図となっています。

本来、地方自治体間に生じている税源の偏在是正は、ふるさと

納税をはじめとした方策ではなく、全体の地方税財源を拡充することや地方交付税の法定率を上げるなど、国の責任において是正すべきです。

よって、港区議会は、政府に対し、「ふるさと納税」は本来のふるさとを応援するという趣旨の制度となるよう強く要請します。

内閣総理、総務、財務、地方創生担当大臣 あて

議員提出案件

港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

区議会議員の費用弁償のうち日額旅費の額を現行の4,000円から2,000円に減額する条例改正を可決

お見舞い

港区議会を代表してうかい雅彦議長が、武井雅昭港区長とそれぞれの大使館にお見舞いに伺いました。

- 10月29日 台風24号による甚大な被害が発生したフィリピン共和国大使館にお見舞金を届けました。
- 11月 9日 平成27年10月26日に発生した地震による被害を受けたアフガニスタン・イスラム共和国大使館にお見舞金を届けました。
- 11月17日 パリで発生した同時多発テロにより、多くの被害を受けたフランス大使館を弔問し、献花と記帳を行いました。

不幸にして犠牲になられた方々のご冥福とご遺族、負傷された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、被災された国におかれましては一日も早い復興をお祈りいたします。



(左上) マニエル・エム・ロペス大使
(フィリピン共和国大使館)
(右上) サイド・ムハンマド・アミン・ファティミ大使
(アフガニスタン・イスラム共和国大使館)
(左下) 弔問記帳を行う、うかい雅彦議長
(フランス大使館)

議会人事の動き

◎運営委員の辞任及び選任について

10月9日付
[辞任] 赤坂 大輔議員
[選任] 井筒 宣弘議員

◎運営委員長の選出

10月30日付
井筒 宣弘議員

◎会派結成

12月18日に新会派が結成されました。

『保守の会』

所属議員 赤坂 大輔議員

◎会派の構成人数

会派所属議員の異動に伴い、各会派の構成人数は次のとおりとなりました。

自民党議員団	12人
みなと政策会議	10人
公明党議員団	6人
共産党議員団	4人
街づくりミナト	1人
保守の会	1人

議会の映像をごらんください!!

本会議、予算・決算特別委員会のインターネット中継(生中継・録画中継)をしています。

●区議会ホームページのアドレス

<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>
または「港区議会」で

区議会だよりの表紙をあなたの写真で飾りませんか?

年4回発行している「区議会だより」について、3回分(4月、7月、11月)発行予定の表紙を飾る写真(デジタルデータ)を募集します。

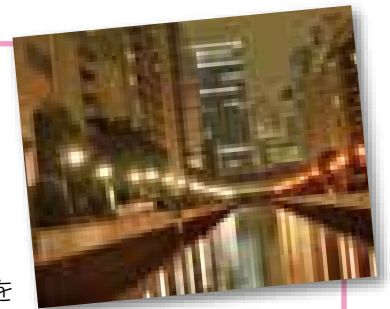
【写真のテーマ】私が好きな港区の風景(発行月の季節にあった風景)

【応募規定】①区内で撮影された横向きの写真(未発表のもの)
②デジタルデータで5MB以上のJPEGデータ

【応募方法】①撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号、写真のコメント(17文字以内)をメールに記入のうえ、応募作品の写真データを添付してください。
②応募締切 発行月の前月15日まで(次回のNo.208号は3月15日締切)
③送付先E-mail: minatokugikai@jcom.zaq.ne.jp

【その他】○人物や個人の所有物を撮影されたものは、本人又は所有者の承諾を得てください。
○必要に応じてトリミング等を行う場合があります。
○掲載時の撮影者名の記載等は相談に応じます。
○掲載された写真の使用権は区議会に帰属します。

○選外の作品については消去し、流出等がないよう取り扱わせていただきます。
○掲載作品の選考は「区議会だより編集委員会」で行います。



作品名「運河の夜景に仕事疲れを癒されます」 山崎真達さん

◆この「区議会だより」は、新聞(朝日・毎日・読売・日本経済・産経・東京)に折り込んでいます。
また、郵便局(赤坂・一ツ木通・麻布・芝・芝公園・新橋・高輪)、公衆浴場、東京メトロ7駅(表参道・乃木坂・赤坂・広尾・神谷町・白金台・六本木一丁目)、JR2駅(田町・浜松町)、ゆりかもめ5駅(竹芝・日の出・芝浦ふ頭・お台場海浜公園・台場)などに置いてあります。

◆新聞を購読していない人のために、区の主な施設の窓口にもおいてあります。

◆戸別配付も行っていますので、ご希望の方はご連絡下さい。

◆「点字区議会だより」「声の区議会だより」も発行していますので、ご利用ください。

【申し込み・問い合わせ先】区議会事務局調査係 電話 03-3578-2921

あとかき

平成28年第1回定例会は2月中旬に開会する予定です。

編集委員

副議長	近 藤 まさ子		
	鈴 木 たかや	丸 山 たのり	
	榎 本 あゆみ	熊 田 ちづ子	